

あるショップの方に、「展示栄えはするが布だけではわかりにくいので何のための生地なのかの提示があると良いですね。」「クッションにしてある方がわかりやすい。素材感を感じる。」とご意見をいただきました。見せるための展示会から売るための展示会へ産地の今後の課題をいただいたように思いました。

日本で仕事を続けるために産地は必死です。できれば産地は素材の生地を作ることだけに専念したいのですが、最終製品の作成までも手がけて行く必要が出てきました。産地ショップの実現に向け勉強を重ねて行きたいと思っています。産地が生き残っていくために、これからのTDAとの連携に期待をしています。

湖東繊維工業協同組合 産地事業委員長 北川陽子

\*TDAデザイナー

今井弘子、神沢郁子、池端禎三、大高 亨、岩岡利都子

\*湖東繊維工業協同組合

(株)おおまえ、川口織物(有)、北川織物工場、江東製織(株)、  
沢染工(有)、(株)大長、(有)中藤織物整理工場、(株)麻絲商会

取り組みの内容は以下の通りです。



今井弘子さん

!たて緋+プリント

生地(たて緋)・麻100%=北川織物工場

プリント=江東製織(株)

ちぢみ仕上げ=(有)中藤織物整理工場

"たて緋+後染め

生地(たて緋)・麻100%=北川織物工場

後染め=沢染工(有)

ちぢみ仕上げ=(有)中藤織物整理工場